

「製品安全座談会」開催

今年度のSマークの広報活動の一環で、電気製品の安全に関して消費者の代表としての主婦連合会有田会長様と当協議会横山会長との製品安全座談会を実施しました。

司会は広報専門部会の三浦部会長が担当し、今回新しい試みとして実施しました。

最初に横山会長から「消費者安全とSマーク」をテーマとした講演をいただき、座談会では、主婦連合の有田会長から電気製品購入の際の消費者行動、心理についてのお話があり、一般消費者はまだ安全に対する意識が高いとは言えず、製品の良し悪しの判断にSマークがうまく活用されるよう、協議会の活動に期待するとのことをご意見をいただきました。

記

日 時：2021年3月22日（月）11：15～12：20

場 所：主婦会館プラザエフ 3F ソレイユ

参加者：主婦連合会 有田芳子会長

SCEA 横山明彦会長

司 会：SCEA 三浦佳子広報専門部会長

<横山会長のご講演の様子>



<製品安全座談会の様子>



<製品安全座談会の様子>



当日の内容については、主婦連合会発行の「主婦連たより」4月15日付けで掲載、発行されました。

2021年(令和3年)4月15日
第860号
毎月1回15日発行
主婦連合会
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
URL <http://www.shufuren.net>
E-mail info@shufuren.net
TEL.03(3265)8121 FAX.03(3221)7864
年間2750円(本体2500円+税250円)

主婦連たより

主婦連合会は昭和23年に設立して以来、消費者の権利の確立と誰もが暮らしやすい社会をめざして運動を続けています。

電気製品の
安全認証

Sマーク普及拡大を

3月22日、電気製品の安全に関して、電気製品認証協議会(SCEA)の横山明彦会長、広報専門部会長の三浦佳子さん、消費者代表として主婦連合会の有田芳子会長が出席して座談会が行われました。

SCEA会長らと座談会

東京大学大学院電気系工学専攻教授でもある横山会長から、消費者安全とSマーク(認証制度の概要)の講演が行われました。

電気製品の安心・安全のための第三者認証制度であるSマーク認証。現在は、4認証機関で実施している。

Sマーク認証の特徴は、電安法対象製品を中心に対象外の製品も対象



等幅広く採用している。第三者の認証機関によるモデルごと試験を行い、初回工場調査、定期工場調査(フオロアップ)実施による管理体制を審査している。SCEAが発足して26年経過、Sマーク認証は定着しているが、2015年から漸減しているの

が大きな課題。2019年11月に行った調査では、店頭普及率70・4%となっている。一般消費者のSマーク認知度調査では25・3%(2020年10月調査)でSマークの認知度は低い。

製品カテゴリ別のSマーク取得率を比べてみると、取得率が高い製品は、電気洗濯機、電気冷蔵庫、テレビ受信機、電子レンジ等。また、電気炊飯器、電気カーペット、電気アイロン等もSマーク取得率が高い。

取得率が低いのは、電気ポット、コーヒーマーカ、フードプロセッサ等の調理家電。エアコン

ンでは特定の有カメーカーがS認証を取得していない。電気掃除機のSマーク認証取得では、人気の高いコードレス掃除機(スティックタイプ)で、国内メーカーの大半が取得0%、英国D社、米国S社が100%取得という結果。リチウムイオンバッテリーを電源とするコードレス掃除機はAC電源ではないため、電安法対象外。このことで日本メーカーにSマーク認証が不要であると認識されている。コード付き製品と変わらぬ安全面でのリスクがあり、Sマーク認証取得が重要と認識を改めてもらうことが必要。電気製品の多様化・複雑化、海外製品の台頭、ネット通販の急拡大などを背景に、電気製品のさらなる安心・安全性が求められる中で、Sマーク付き電気製品の普及率の向上が求められるとして座談会は終了しました。